



安岐の郷だより

第9号

安岐の郷

検索



むさし苑

生活機能向上
特化型
デイサービス

新しい介護予防デイサービスが始まりました！

国東市の指定を受けて、9月4日より開始しました。サービス開始に先駆けて、2日に国東市、国東市地域包括支援センター、自立支援を目的としたデイサービスを行っている株式会社ライフリー・デイサービス楽(大分市)佐藤先生に参加いただき、ご利用者6名のカンファレンスを行いました。

社会福祉法人安岐の郷むさし苑では、ケアマネジャー・歯科衛生士・理学療法士・看護師が担当となりプログラム構成をして、実施期間となる3ヶ月を通してご利用者をサポートする体制をとっています。

対象者

- 要支援1又は要支援2と認定された方
- 事業対象者

お問い合わせ 国東市地域包括支援センター(0978-68-0247)

運動する習慣を身につけ、ロコモ予防しませんか？

※ロコモとは？ 運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態を「ロコモシンドローム(略称:ロコモ)」といいます。ロコモが進行すると介護が必要になるリスクが高くなります。

ご利用者の
現状・目標の一部
→ 次頁(P2)

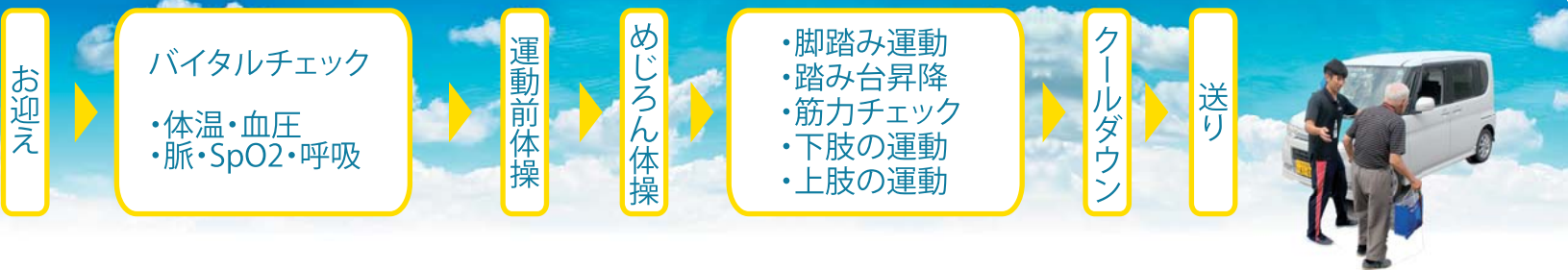
- 片足立ちで靴下が履けない
- 自宅でつまづいたり滑ったりする
- 買い物した荷物を持ち帰るのが困難である
- 15分程続けて歩くことができない
- 手すりを使わないと階段を上がれない

実施プログラム

※一例です。

通所 週1回2時間

期間 3ヶ月



国東市は、今年度から介護予防や生活支援のサービスを総合的に行う「介護予防・日常生活支援総合事業」(通称総合事業)を実施されました。私どももその一環として介護予防・生活支援サービスの拡充を図ることとしました。その一つが配食事業の拡大です。もともと鈴鳴荘は独自事業として配食サービスを行っていましたが、国東市が配食事業を公募されたのを機に、安岐町から武蔵地域までエリアを拡大しました。これまで培ってきた療養食のノウハウを生かして色々な食事形態まで幅広く対応しています。ご利用ください。

また、予防事業として「生活機能向上特化型デイサービス」を開設しました。毎週金曜日の午前中2時間、みっちり機能訓練を行うもので、6名のご利用者でスタートしました。

鈴鳴荘は、来年の10月に創業20周年を迎えます。これまでは施設を拠点として展開してきた社会福祉事業を、法人のネットワークを最大限生かしながら、今回の総合事業等地域に根差した地域密着型サービスに力を入れて行く所存です。今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

この4月から介護報酬の改定と介護保険制度が一部改正されました。施設の入所基準が原則要介護3以上の重度の方が対象となり、多床室の室料の負担が変わり、また、食費や居住費が一定所得以下の低所得者に対する補給給付の適用条件が見直されました。判らない点も多々あると思いますが、何かご不明な点がございましたら遠慮なく各担当までお問い合わせください。

地域の盆踊りへの参加、法人が運営する4施設の慰霊祭と供養盆踊り、そして、小学生の体験学習など、夏のこの時期は地域の皆様と交流できる大変重要なシーズンです。今年は、雨で中止することなく無事終了することができました。本当にありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



理事長
高橋 とし子

理事長挨拶



こども介護日

第三回

職員のごども達がむさし苑に

2015
8/12

見学後は、グループに分かれて、デューサー・グループホーム・新特養で、それぞれ利用者者と交流を行いました。

また、百歳を超えるおばあちゃんのお部屋に向かい、寝ているおばあちゃんを起こさないように優しく手に触れる微笑ましい姿もありました。おばあちゃんの長生きの秘訣は、『朝・昼・晩好き嫌いをしないこと』と『嘘をつかないこと』だということ、こども達はニコッと笑っていました。

施設見学では、老人ホームのお風呂や介護の仕事に興味津々で、覗き込むようにして見学をしていました。

私の息子よ



グループホームでは、お習字の上手なご利用者が先生となり、「いきいきと書きよー!」のびのびと!と、ご指導を受け、思い思いの文字を書きました。デューサーでは、折り紙や間違探しをしたり、特養では風船バレーをしたりと、こども達がご利用者の皆さんと笑顔で交流をしていました。



おもい...

もう歩けん...

高齢者体験学習も行いました。

鈴鳴荘でも実施しました

8/28



おやつを作ったり、一緒に食べたり、車いす体験も行いました。



鈴鳴荘では、九名が参加しました。初めに理事長より、「お父さん、お母さんはここで『大切な命を守る仕事』をしているのです。」と、介護の仕事についてのお話がありました。少し緊張した面持ちでお話を聞いていたこども達でしたが、「オー」の掛け声での記念撮影で緊張もほぐれて、介護体験が始まりました。



むさし苑

生活機能向上
特化型
デューサー

ご利用者の生活自立度

■ 外出の機会が減り 足の力が弱くなった 90代女性

- ・体調不良が続き、外出することが少なくなった。
- ・かかりつけ医の病院まで一人で歩いて行きたい。

目標

普段行っている自宅周辺の散歩の範囲を拡大する。一人で病院まで歩いて行ける。

■ 長期間の入院による 足腰の筋力の低下 80代女性

- ・右足骨折後入院。退院後は入院前に比べて筋力が低下し、歩きにくくなった。
- ・一人で受診や買い物をしたい。

目標

運動することで安定して歩けるようになる。一人で外出ができる。

■ 脳梗塞 80代男性

- ・脳梗塞後遺症や足の痛みで休んでいる時間が増えた。
- ・段差などでつまづく可能性があり転倒するのが怖い。

目標

デューサーや自宅で定期的に運動し、能力アップできる。自宅横の急な坂を一人で歩ける。



8/15

むさし夏の夜まつり

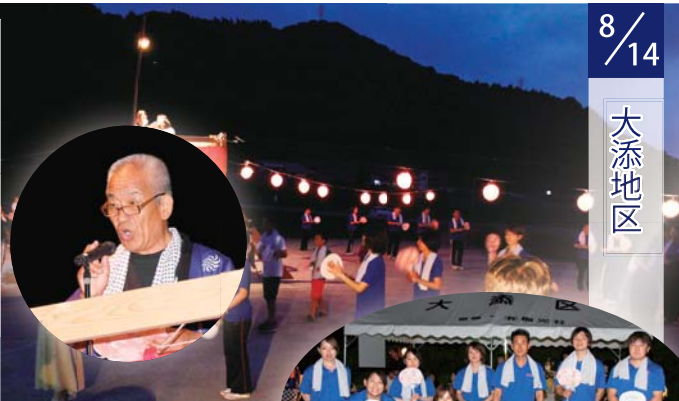


安岐の郷 星組
優懸賞踊り 2015 勝



8/20

安岐町福祉ゾーンまつり・鈴鳴荘



8/14

大添地区



8/16

朝来サポートセンター
旧朝来小学校校庭

供養盆踊り



8/22

松寿園



8/18

むさし苑 慰霊祭・盆踊り



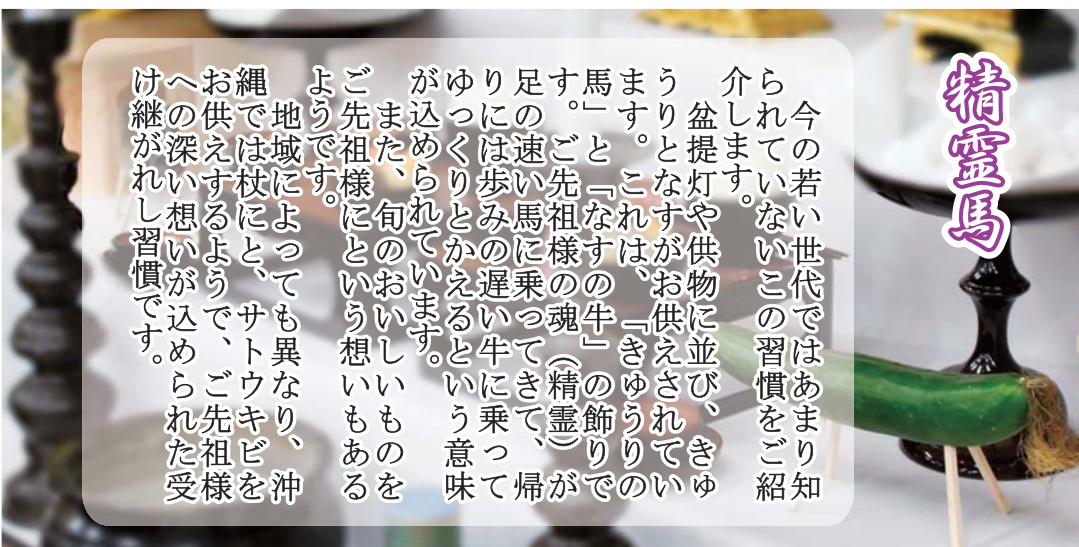
善長寺仏教婦人部
皆様による御詠歌と舞



ご焼香



お盆で行う盆踊りは、踊ること七十年を供養します。年に一度は皆集い、七きご先祖様を想い感謝するのです。
私たちは皆、いのちのいのちがながき合って、今このいのちが折しも今年に終戦七十年を迎え、戦時中多くのいのちが失われた中でも、今自分がいることは大変ありがたいことです。



精霊馬

今の若い世代ではあまり知られていないこの習慣をご紹介します。
盆提灯や供物に並び、きゅうりとなすは「きゅうり」と「なす」の「精霊馬」が、先祖様の魂（精霊）が、の速い馬に乗ってきて、帰るには歩みの遅い牛に乗って、ゆっくりとかえるといいます。
が、先祖様の魂（精霊）が、の速い馬に乗って、帰るには歩みの遅い牛に乗って、ゆっくりとかえるといいます。
ご先祖様にといいたいものがある地域によっても異なり、沖繩では杖にと、サトウキビをお供えするようでご先祖様への深い想いが込められた受け継がれし習慣です。



ご導師善長寺様で読経

研究発表テーマ一覧

- 目指せー5kg 松寿園:支援・看護
～生活習慣病の改善に向けて～
- 気持ちの代弁者を目指して 鈴鳴荘:従来型特養
- エンド・オブ・ライフケア 鈴鳴荘:看護
～家族を含めたその人らしい最期への取り組み～
- おいちゃんと子どもをつなぐ 鈴鳴荘:託児所
～野菜作りを通して心の交流～
- 美味しくたべられるように 鈴鳴荘:新型特養
- 個別支援活動を通して 鈴鳴荘:デイサービス
～ご利用者の居場所作り～
- もっと生きていたい 鈴鳴荘:リハビリ
- 玄米ご飯とお月様 鈴鳴荘:グループホーム
- きつい思いはさせたくない むさし苑:従来型特養
～微熱が出る方へのアプローチ～
- 危険予知 むさし苑:厨房
～厨房内にどんな危険がひそんでいるかを考える～
- アルツハイマーと中鎖脂肪酸の関係について むさし苑:デイサービス
～家族とともに在宅生活を支える～
- 来年も桜が見たいな むさし苑:看護
～看取りになり家族との関わりについて～
- 障がい高齢者の日常生活自立度と膝関節伸展・足関節背屈角度の関連性 むさし苑:リハビリ
- 最後の時まで穏やかに むさし苑:新型特養
～自分たちができる事～
- 腹八分目は医者いらず! 朝来サポートセンター

■ やっとみつけた私の居場所 むさし苑:グループホーム



「認知症だからできない」ではなく 秘められている「できる事」は私たちが引き出す

場所に馴染めず、繰り返す徘徊

もともとむさし苑のショートステイをご利用されていましたが、利用定員が90名(特養60名/ショート30名)の大所帯のなかでの生活で、他のご利用者との馴染まれることなく、徘徊される毎日を送っていました。

グループホームへの入居と生活への変化

昨年4月に開業したグループホームへ入居することになり、当初は帰宅願望も強く徘徊もされていましたが、自分の役割を持つことで生活に変化がでてきました。きっかけとなったのが、毎食後のお皿洗いでした。今では使命感を持ってお皿洗いを下さっています。これまででもされていた塗り絵も、色使いが1、2色だったものが、使う色の種類がたくさん増えました。

役割を持って見つけられた居場所

認知症だからできないではなく、できる事はたくさん秘められているということ。そして、そのできる事を私たち職員がどこまで引き出せるかということ、改めてご利用者に教えていただきました。



四つの施設がある安岐の郷では、各部署で独自のテーマに基づいて研究発表を行いました。毎日ご利用者さんと接する中で、問題意識も持ち、課題を見つけてグループで研究を進めることで、よりよい介護を目指しています。

各施設での発表後、投票を行い、職員がお互いに評価をします。そして一番票が多かった部署は、安岐の郷職員全体会議にて発表を行います。今回は、むさし苑で一位となった発表を紹介いたします。

安岐の郷

研究発表会

2015 7/30

安岐の郷では、働きのながら育児を頑張っているパパが集まり、「育メンがらぼるう会(えいめんがらぼるうかい)」を年に一回開催しています。仕事に育児に奮闘する仲間が集まり、日頃の楽しみや悩みなど語り合います。今回は、初の試みとして、事前にそれぞれのママ達に「パパの良い所」などのアンケートを取り、発表しました。パパの思い通りの回答や意外な回答もあったようですが、普段聞く機会のないママ

安岐の郷

育メンがらぼるう会

2015 8/1



手が思い通りに動かん...

坂はちょっと怖いなあ

安岐小学校

介護・福祉体験

2015 8/5,10

編集後記

こんにちは。今号は、盆踊りや福祉体験など、地域の皆さんと安岐の郷との交流イベントを掲載させて頂きました。

取材では、こども介護日で、ご利用者さんが、「あ～小学生の頃を思い出すな～」とおっしゃっていたのが印象に残っています。昔のことを思い出すと、自然に笑顔になりますよね。安岐の郷は、事業所内託児所もあることから、定期的にこども達との交流も行われています。こどもから高齢者みんなが笑顔になれる場所です。

むさし苑で新しく始まったデイサービスは、施設と地域が協力しあい、一体となって「元気になる」ことを目的としているので、より一層地域との繋がりを大切に感じました。(平山)



鈴鳴荘 きつき衆楽観

慰問

五代目三河家桃太郎

2015 9/7

きつき衆楽観での公演の為、杵築を訪れていた、五代目三河家桃太郎「三河家劇団」のご一行さまが、鈴鳴荘へ慰問に来てくださいました。劇場に観に行くことが難しいご利用者さんもおられるので、またとない施設での演劇鑑賞に、歌に合わせ、涙を流されたい方もいました。来年も来てくれるとの約束もしてくださった劇団の皆さま、本当に素敵な時間がありました。

● 社会福祉法人 安岐の郷

ご利用者と地域の皆様、そして職員の心が 鈴の音のようにかろやかに共鳴し合えるように...

特別養護老人ホーム 鈴鳴荘 〒873-0222 大分県国東市安岐町下山口58番地 ☎0978-67-2626

特別養護老人ホーム むさし苑 〒873-0421 国東市武蔵町糸原2368番地1 ☎0978-68-0238

朝来サポートセンター 鈴鳴荘 〒873-0351 国東市安岐町朝来144 ☎0978-66-0120

養護老人ホーム 松寿園 〒873-0643 国東市国東町富来浦2368番地1 ☎0978-74-0251